

ゆりはま議会

第56号

平成29年11月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



CCRC構想正念場
泊地域こども園の今後は
一般質問 国道179号バイパスプラン

6

11

15

「元気に育て ゆりはまっ子」

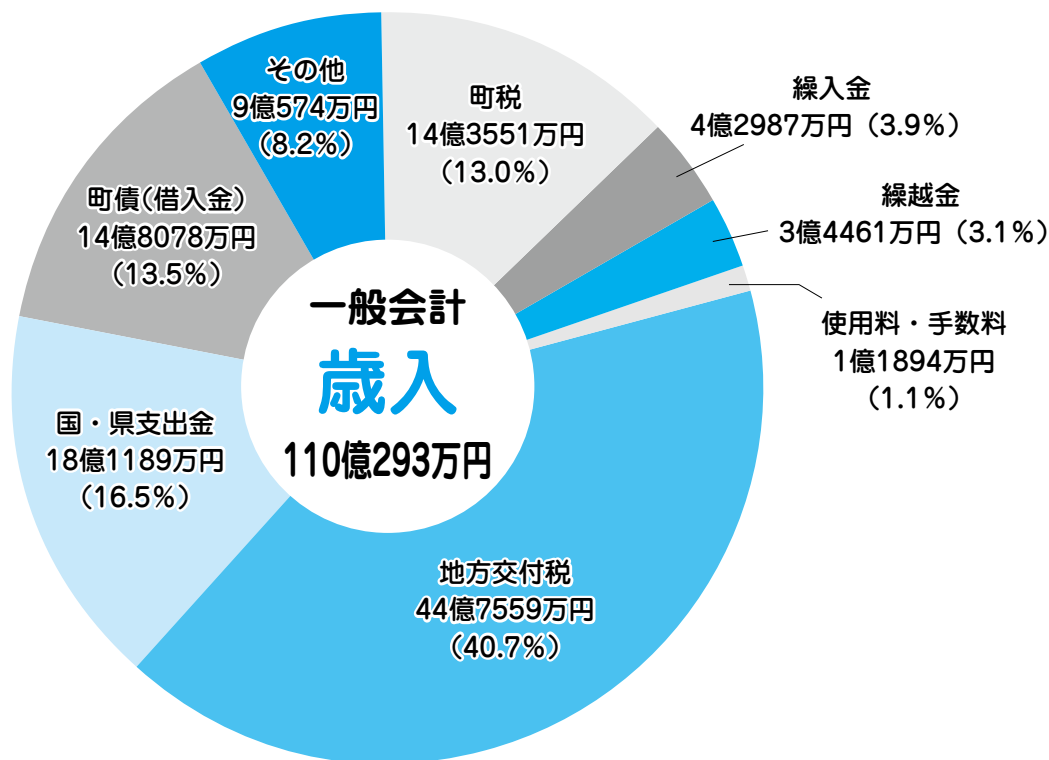
(東郷神社 秋の例大祭)

に14億円 町の基金(貯金) 4億円減少

9月定例会は、9月7日から25日までの19日間の会期で開かれました。
平成28年度決算認定は、決算審査特別委員会を設置し、審議の結果、18会計すべての決算を原案のとおり認定しました。

また、町長から提案のあった補正予算、条例の制定など28議案も原案どおり可決しました。

一般質問では、8人が登壇し、防災、教育、国民健康保険など町政全般にわたり町長、教育長に質問しました。



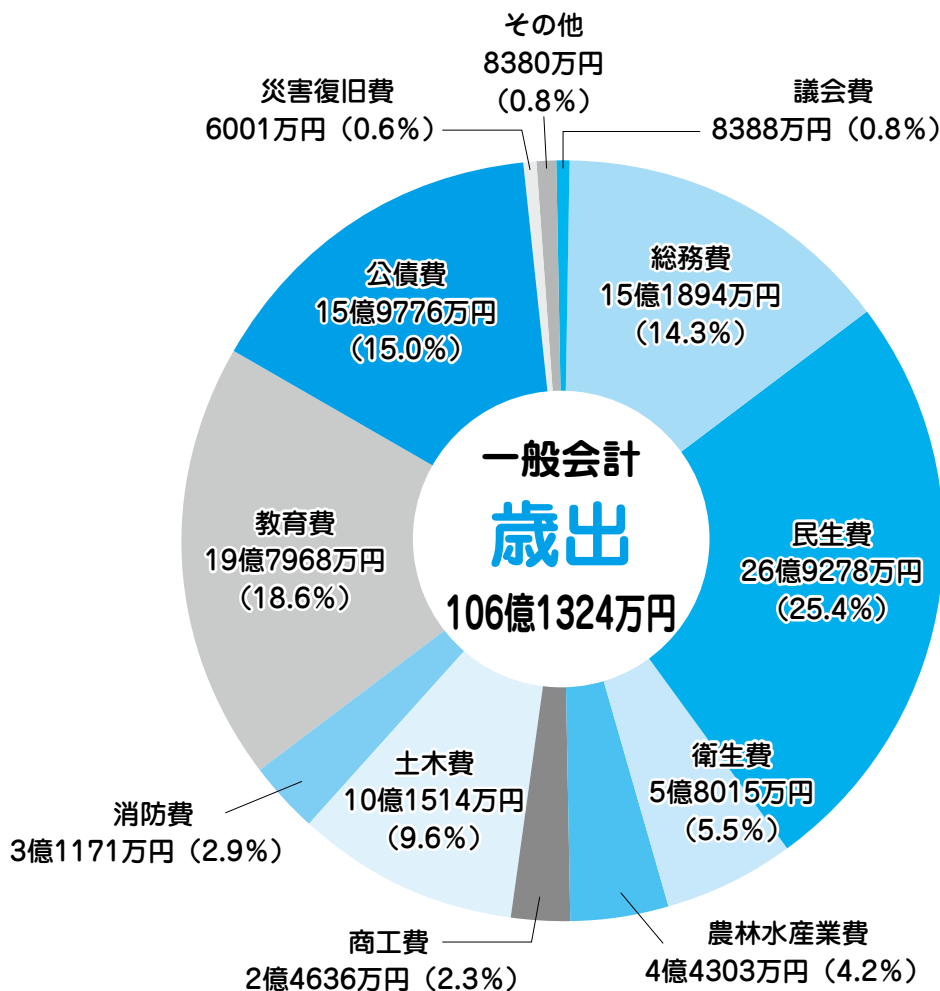
町債（借金）と基金（貯金）の状況

【町債（借金）の残高】

会計名	27年度末残高	28年度末残高	増減額
一般会計	120億4237万円	120億6113万円	1876万円
特別会計	66億3266万円	62億2409万円	▲ 4億857万円
計	186億7503万円	182億8522万円	▲ 3億8981万円

【基金（貯金）の残高】

27年度末残高	28年度末残高	増減額
69億8651万円	65億8081万円	▲ 4億570万円



平成28年度 特別会計・企業会計の決算状況

【特別会計】

会計名	歳入決算	歳出決算	会計名	歳入決算	歳出決算
住宅新築資金等貸付事業	696万円	696万円	温泉事業	889万円	695万円
高齢者及び障がい者住宅整備資金貸付事業	4万円	4万円	下水道事業	11億2570万円	10億8155万円
国民健康保険事業	22億1032万円	21億2517万円	農業集落排水処理事業	1億7691万円	1億7674万円
後期高齢者医療	1億6708万円	1億6679万円	簡易水道事業	1億8497万円	1億8497万円
介護保険	19億1011万円	17億6507万円	財(6財産区)	1205万円	717万円

【企業会計】

会計名		収入	支出
国民宿舍事業	収益	2億9917万円	2億7763万円
	資本	0円	8382万円
水道事業	収益	2億730万円	1億8957万円
	資本	0円	3307円

決算審査 特別委員会

平成28年度一般会計及び各特別会計・企業会計の決算を、決算審査特別委員会で審議しました。

海の駅とまり どう取り組む

問 海の駅とまり協議会が設立されたが、どう取り組んでいくのか。

答 道の駅のイメージではなく、泊地域全体を海の駅という名称にし、陸上養殖場やサカナクワイ屋など、海にかかわるもので構成する地域を作っていく。

問 過疎化が進む泊地域をブランド化していく。

答 道の駅のイメージではなく、泊地域全体を海の駅という名称にし、陸上養殖場やサカナクワイ屋など、海にかかわるもので構成する地域を作っていく。

自治基本条例 なぜ策定しない

問 自治基本条例を策定しないとの結論に至った経過は。

答 策定しないのが適当という判断ではなく、わが町では策定しないという結論。住民参画、通勤者の自治参画、意見の吸い上げはできていると考えている。

問 策定できる町、住民の声が上がってくる町にする検討が必要では。

答 どうしても作るべきと判断したときに考え直したい。

風力発電施設 今後どうする

問 風車が故障していたが、修繕は終わったか。

答 特殊な部品を作る必要があり、修繕は今年の11月までかかる。

問 県内風力発電第1号の記念碑を作るのか、同じ規模の風車を探すのか考えている。

答 県内風力発電第1号の記念碑を作るのか、同じ規模の風車を探すのか考えている。

問 風車をどうするのか、更新か廃止か決断の時期があると思うが。

答 風車をどうするのか、更新か廃止か決断の時期があると思うが。



オープニングを飾った海響太鼓
(ゆりはま大漁まつり)

電気自動車充電設備

有料にしては

問 町が設置している充電設備は無料で利用できる。無料にするという法律があるのか。

答 そういう法律はないが、県内で行政が設置した設備は無料。

問 電気自動車が増えてきたら、有料にする必要があるのでは。

答 充電設備を設置したのは、電気自動車の普及をはかるということ。料金を取ること、まだ適切ではない。



町設置の無料充電設備（水明荘前）

生ごみ液肥

利用されているか

問 液肥の無料配布を行っているが実績は。

答 成分分析をして周知すれば、使いたい人はあるのではないかな。

問 昨年度は東郷支所1カ所に置いていた。今年は泊支所にも置いた。羽合地域はまだ設置していない。PRをしていきたい。

答 成分分析はやっているが、使用量が多くなくと、意見が少ないため判断しにくい。成分を含めた広報をしていく。

問 液肥の成分、効果が確立しているのか。



無料配布中の生ごみ液肥（役場東郷支所）

ふるさと納税

寄付金が減

問 昨年度に比べて、寄付金額が減っているが。

答 全国的なお礼品競争の中で、寄付が分散した。昨年は地震があり、十分なPRができなかった。

問 まちづくり会社に事務委託し、委託額は寄付金の5%。その中で事業などをするのか。

答 商品開発などの事業を5%の中でやっていただくのが原則。

移住者の運転免許取得支援

続けていくのか

問 昨年支援したのは1件。どんな周知をしてきたのか。

問 PRはしているが、今年の申請も現在1件。制度は残すのか。

答 移住者に関するパンフレット、町のホームページ、移住にかかわる全国のサイトや、東京、大阪での移住相談会でも周知している。

答 移住された人が、たまたま運転免許を持っておられた。都議会の方には、この制度は魅力があり、しばらく続け、その後に評価したい。

平成28年度決算審査特別委員会 審査報告(抜粋)

決算審査特別委員会に付託された、18会計の決算と2会計の剰余金の処分について、すべて原案のとおり認定及び可決しました。

決算審査過程での主な指摘・意見・改善事項を付記して、委員会報告としました。

自治基本条例策定事業

条例制定に向けては色々な問題点があり困難と判断されたようだが、今後も、十分に研究調査などを行い制定に向けて検討していただきたい。

風力発電設備災害復旧事業

落雷被害や経年劣化などにより故障が頻繁に発生し、このまま存続しても修理費用など、今後多額の支出が懸念される。

耐用年数の時期も近づいていることから、設備の更新が廃止か、説明責任を果たしながら、早急に決断されることを要望する。

ふるさと納税

地震などの影響で減少したが、平成29年度は増加に転じているようだ。もう少し湯梨浜町の特産品の開発やPRが必要である。

納税者には、町の姿

勢や思い、魅力を積極的に伝えていただくよう努められたい。

CCRC構想

生涯活躍のまち基本計画が策定され、CCRC構想の骨格が明確になり、事業実施に向けて検討されている。旧ミッドレークホテル跡地に予定されている事業は、用地取得、サービス付き高齢者住宅、町営住宅などの建設である。事業主体や事業経費などの事業化見通し、まちづくり会社の関わりなど、慎重に精査しながら進めていただきたい。

CCRC構想・計画の実現に向かって、今後の取り組みを円滑に展開していくために、役場内の一体となった実施体制の整備が急務である。

決算審査意見

代表監査委員 磯江俊二
議会選出監査委員 光井哲治

平成28年度湯梨浜町歳入歳出決算書などを審査して、次のとおり意見を付しました。

収入未済金対策

税金をはじめとする公金の適正負担や、さまざまな行政サービスに対する料金負担は、公平・平等な行政を確保する上での基本事項である。

個々の滞納事案については、さまざまな事由があろうが、これらの重要性をよく理解してもらう努力を重ねつつ、今後とも執行部全体として粘り強く取り組みを展開していくことが重要である。

CCRC構想の現状と課題

生涯活躍のまち(CCRC)構想は、「計画」から「実践」に移行する正念場である。まず役場内での一体推進体制を整備し、事業ごとに担当課を定めて実施検討を進めていく必要がある。

その上で関係事業者や町民への説明を尽くし、協働化を進めていくことが特に重要と思うところである。

基本計画に基づき、早急に構想の目標、実現方法、実施事業、各事業の事業主体などを明確にした全体実施計画を取りまとめ、広く町民の理解を求めていくことが肝要である。



浦木決算審査特別委員長の審査報告

平成29年度 一般会計 補正予算

☆一般会計は、歳入歳出それぞれ1億4千171万円を追加し、補正後の予算の総額を126億3千356万円としました。

主な内容を紹介いたします。

保育教育環境を整備

・こども園整備事業
171万円
まつざきこども園のシロアリ駆除や、園内電話設備の修繕をして環境を整備する。

特産の梨を展覧

・町イチ、村イチ出店事業
13万円
12月に東京で開催される全国の町村が自慢の特産品をPRするイベントに参加し、「王秋」「あたご」梨を出展するなど、湯梨浜町を全国発信する。

寄付額が順調に推移

・ふるさと湯梨浜応援基金事業
2千572万円
ふるさと納税の寄付額が伸びており、基金積立の増額のほか、寄付者への返礼品や委託料などの増額。



まちづくり会社によるふるさと納税事務

地震被害の復旧へ

・道路橋りょう等被害復旧事業
500万円

通行の支障となる道路陥没のあった、小鹿谷・旭・野花・長江・上浅津・田後・長瀬西部区の道路修繕。

・コミュニティ用地災害復旧事業
1944万円

宇野地区の公民館用地として、宇野区に貸し付けている町有地の法面の測量設計を委託し、復旧工事を行う。

快適な施設へ

・温泉保養施設管理臨時経費
315万円

ゆアシス東郷龍鳳閣の放送設備や受電設備、給湯配管の修繕。

オペレーターの育成

・道路維持事業
671万円

緊急性の高い町道の修繕工事や、適切な除雪作業のため除雪機械運転手の育成などによる増額。



道路復旧工事中（旭）

条例制定・改正

準備基金を制定

・湯梨浜町介護給付費等準備基金条例の制定
介護保険制度は、3年間の計画期間ごとに保険料を設定している。

この期間内に余剰金が発生した場合、基金に積み立て、次期計画期間に繰り入れることができるよう、条例制定を行う。

プール事故で給与をカット

・町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
昨年7月15日に発生した羽合小学校プール事故対応の責任として、平成29年10月分の町長及び教育長の給与を1割減額する。

本会議での採決結果

議案の内容 (○：賛成 ×：反対)	松岡	浦木	光井	会見	米田	寺地	上野	濱中	増井	竹中	河田	結果
町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	賛成7人 可決
湯梨浜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	賛成9人 可決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

※上記以外の26議案は全会一致で可決及び認定しました。



常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳 情 者	審査結果
受動喫煙防止条例の制定に関する陳情書	鳥取県中部医師会 会長 松田 隆	採 択
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	全国森林環境税創設 促進議員連盟 会長 板垣一徳	採 択 (政府に意見書を提出)
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について	鳥取県教職員組合 中部支部長 尾崎豊久	採 択 (政府に意見書を提出)
「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ、組織犯罪処罰法の改正に係る意見書の提出について	足羽佑太	継続審査
公文書の適切な管理運用を求める意見書の提出について	足羽佑太	継続審査

議会運営委員会 視察報告

議会運営委員会は、7月19日～20日の日程で、北海道浦幌町を視察・調査しました。

議会活性化対策の取り組み

浦幌町議会では、第1次活性化（平成23年～27年）として、議会基本条例を施行。町長などへの反問権の付与、休日・ナイター議会の実施、定数の2名減、報酬引き上げを行ったが、平成27年度の選挙で定員割れとなった。

このため、議員のなり手不足対策を最重要課題として、平成27年から第2次活性化策を検討。町民の声を聴くためアンケート調査を行った。

その中で、多くの人が、議員に意見・要望を伝える手段が分からないと答えており、「まちなかカフェE議会」を開催したり、議会モニター制度などを導入している。

このように、同議会では議会活性化策について、検討事項を細分化して検討し、方向性を見いだしており、本町議会の活性化に向け、参考にしたい事例が多くあると感じた。



浦幌町議会と意見交換

住民と議会の意見交換会

テーマ：湯梨浜創生に向けて

町民の皆さまに議会の活動を知っていただき、ご意見をお聞かせいただくため、「住民と議会の意見交換会」を開催します。

皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日	時 間	会 場
11月14日（火）	午後7時～9時	役場羽合庁舎 別館講堂
11月16日（木）	午後7時～9時	中央公民館泊分館
11月17日（金）	午後7時～9時	中央公民館

どうする

スーパースライダー

☆平成26年に維持管理費の長期見通しを立てていたが、スーパースライダーの改修経費が予定より増えている。

問 改修工事は町長自ら業者に会って結論を出すということだったが。

改修工事は町長自ら業者に会って結論を出すということだったが。

問 スーパースライダー自体が必要か、継続していくか検証しているのか。

スーパースライダー自体が必要か、継続していくか検証しているのか。

答 スーパースライダーを利用して、子ども、若者の公園利用を増やすという気持ちを持って取り組んでいる。

スーパースライダーを利用して、子ども、若者の公園利用を増やすという気持ちを持って取り組んでいる。

を進めるためにも必要である。

問 指定管理者のチューブは、スーパースライダーが集客に必要なと思っているのか。

指定管理者のチューブは、スーパースライダーが集客に必要なと思っているのか。

羽合地域の水の安定供給は

☆昨年8月、倉吉市に給水の要望書を出した。倉吉市からは、水の供給事業費やシステム改修がかなりかかるので難しいと回答があった。

他の方法を探った結果、非常時・緊急時の通水ができる分水事業について、県は認めると回答があり、倉吉市に分水のお願いをした。回答待ちの状態である。

問 以前から、町内をループ配管でつなぐという考えがあったが。

以前から、町内をループ配管でつなぐという考えがあったが。

答 ループさせるには、今の状態だと時間がかかる。新しい水源地を見つかる。同時に緊急時に水を供給してもらえれば、羽合地域の水

ループさせるには、今の状態だと時間がかかる。新しい水源地を見つかる。同時に緊急時に水を供給してもらえれば、羽合地域の水

観光農園から

方向転換

の安定供給につながるの
で、倉吉市からの分水を進めていきたい。

答 最初の陳情は、東郷生産部の構想で、梨の未収益期間を考慮して、イチゴ、ブドウを取り入れた、梨中心の観光農園だった。

方向転換になったのは、イチゴ、ブドウ農家の了解が得られなかったということではなく、観光農園の経営的な難しさという点も議論され、梨だけの生産基盤整備となった。

☆松崎駅南側約2ヘクタールの水田を1メートル程度地上げし、梨の生産団地を整備する。

問 当初陳情の、梨を中心とした観光農園構想から、生産基盤整備へと方向転換になったのはなぜか。

当初陳情の、梨を中心とした観光農園構想から、生産基盤整備へと方向転換になったのはなぜか。

観光的なものは、将来に残しておくこともあり得ると思う。

観光的なものは、将来に残しておくこともあり得ると思う。



人気のスーパースライダー



梨生産団地整備へ（松崎駅南側水田）

小学校間の 学力の差は縮まらず

☆今年度の全国学力調査結果が公表された。本町の結果は、国・県と比べ、小学校は、国語と算数Bは低く、算数Aは県と国の間だった。中学校は、国語Aはほぼ同じ、国語Bと数学Aは高く、数学Bは低かった。

※A：基礎知識問題 B：活用、応用問題

問 今回の調査結果に特徴はあるか。

答 中学校は、3年前の小学校6年生の時のデータと比較すると、両中学校の差が縮まってきている。
小学校は、学校間の差がある。



真剣に学ぶ（ゆりはま自主学習の広場）

給付型奨学金を 今後検討

☆ひとり親家庭の生活実態や福祉へのニーズを把握し、総合的な支援策を充実するため、アンケートを行った。

問 奨学金を取り入れた。本町も考えてほしい。

答 国の動向もあり、今後検討していく。

問 アンケート結果は、国に要望すること、町の予算で対応することなどに分類し、対応方針を作っておく必要があるのでは。

答 12月までには協議を行い、平成30年度予算に反映したい。

泊地域のこども園 新設統合が望ましい

☆あさひこども園、わかばこども園の在り方について、アンケート結果を踏まえ、委員会を5回開催した。

どちらかに統合しても一長一短があり、将来的に新設統合が望ましいということになった。

問 統合は、町の雰囲気盛り上がるまで待つのか。



あさひこども園・わかばこども園

答 何年後と決めるのではなく、町に任せてもらうことになると思う。

問 今のままで、様子を見ながら検討するのか。

答 子どもの交流をしながら、将来に向かい統合を進めていく。

次の委員会で、泊らしい保育・教育の在り方、統合後の特色ある園運営について協議し、報告書をまとめる予定。

一般 質問

町政を問う!

9月定例会では、8人の議員が一般質問を行い活発な議論を展開しました。

一般質問は、議員が町の事務の執行状況や将来の方針などを町長や教育長に問うものです。
本町議会の質問時間は、1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質 問 事 項	ページ
上野 昭二	1. 早急に東郷池水系の洪水準備を	13
	2. コミュニティスクールでめざすものは	13
松岡 昭博	1. 山間地集落の消火対策はどうする	14
	2. ジャンボタニシの積極的駆除を	14
光井 哲治	1. 北溟中跡地利用と国道179号バイパスプランは	15
	2. 羽合小学校プール事故の対応は	15
竹中 寿健	1. 指定文化財のある地域の防火対策は	16
	2. 放射性廃棄物処理場受入れ拒否を	16
米田 強美	1. 景観保全で町の魅力アップを	17
	2. 町職員と教員の働き方改革は	17
増井 久美	1. 県一本化で国保はどうなる	18
	2. 介護保険制度は今後どうなる	18
濱中 武仁	1. 地域包括ケアシステム強化のための取り組みは	19
浦木 靖	1. 町村合併の総括は	19

早急に東郷池水系の 洪水準備を

町長

早期避難の重要性を周知



うえの しょうじ
上野 昭二

【問】近年、線状降水帯など局地的な集中豪雨災害が、毎年どこかで起こっており、明日は我が身だと思つ。

これまで東郷池の洪水対策について、たびたび議論してきたが、町独自の洪水対策を考え進めているのか問う。

今年も7月に九州北部豪雨災害が起こり、痛ましい死者災害が連続している中、倉吉市は天神川水系の洪水浸水対策の検討を始める。

【町長】昨年7月に河川管理者、鳥取気象台、流域市町で、「天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」を設立。東郷池などでも、「天神川圏域県管理河川の減災対策協議会」を今年5月に設立し、ハザードマップの見直しなど、減災対策を協議している。

東郷池の洪水対策では、県が護岸整備などを進めていて、町では、雨水をポンプで強制排水を行う対策を検討している。

避難計画などの見直しを行い、早期避難の重要性を住民へ周知していく。



町内で唯一の救助用ボート
(第2分団：上浅津)

「コミュニティスクールで めざすものは

教育長

学校応援団として学校をサポート

【問】今年度よりコミュニティスクールが導入される。

平成14年度の「地域運営学校制度」から始まり、当町でも平成19年度に提唱された経緯を持つ。

平成29年度の改正により「学校運営協議会の設置」が努力義務化され、そこに三大権限を与える制度である。

当町では、なぜ今日まで導入しなかったのか。あるいは導入できなかったのか問う。

また、協議会の設置に向け、各校長にどのような指導をするのか。そして、学校の何を変え、何をめざすのか要点を問う。



教育は学校と地域の協働連携で
(ゆりはま自主学習の広場)

【教育長】この制度の導入により、教職員の人事に影響を与え、学校現場が委縮する懸念があったが、法の改正により、教育委員会規則で懸念を払しょくできることが可能となった。

学校教職員、管理職の意識改革が必要だと考えられている。校長へは、学校経営方針の中に「地域と共に」という思いが込められるよう指導していきたい。

保護者や地域のみならず、学校と共にある地域づくりをめざし、学校応援団として学校をサポートしてほしい。

※上野議員はこのほかに「奨学金制度の拡充」について質問しました。

山間地集落の 消火対策はどうする

町長

まずは火を出さない意識が大切



まつ 松 ひろ 博
おか 昭

【問】集落の消火施設について、現在の整備状況では不十分という声をよく聞く。

①町は、全集落の消火体制や消火施設・器具の整備状況を確認をしているのか。そして、各集落の整備状況を見て、消火対応上、どのような問題があると考えているのか。

②過疎化が進む山間地の集落ほど、初期消火に手間取るし、消防車到着するまでに時間を要する。

このような地域には、どのような消火対策を実施しているのか。

【町長】①当町の消防体

制は、広域連合消防局と湯梨浜町消防団で構成している。

防火水利は水槽、消火栓により全地域が基準を満たしている。消火栓増設は補助金、防火水槽は地元負担1割で対応する。

問題点は幅員の狭い道路、高齢化などだが、火を出さない防火意識の啓発が重要と考えている。

②自治会の役員の方と相談しながら、消防署職員や消防団などによる初期消火の指導を積極的に実施する。

自主防災組織を対象に「防災資材等購入補助金」があるので活用してほしい。



住民参加の消火訓練（門田）

ジャンボタニシの

積極的駆除を

町長

効果的な対策を協議する

【問】ジャンボタニシは県内では、東郷池周りに発生が多く、近年、多くのほ場で、稲の移植苗を食害し欠株になるなど、大きな問題となっている。

①本町では、30年くらい前から水稲に被害を与えており、その範囲が拡大してきた。

町は、今までどのような認識を持ち、駆除対策を指導してきたのか。

②本町特有の害虫と言っても過言ではないジャンボタニシを、積極的に駆除すべきでないのか。

【町長】①ジャンボタニシは昨年大発生となり、分布が拡大している。

農業改良普及所やJAと連携し、発生地域の卵塊落としや捕殺、農薬による駆除をチラシ配布で呼びかけている。

②ジャンボタニシが当町で分布しているエリアは

温泉地に近く地中の温度が高いことや、池周辺で地下水が高いため繁殖しやすい条件が重なったと考えられる。

9月4日には分布調査を行い、効果的な対策について県農業改良普及所やJAと協議を進めている。



欠株被害が大きな問題（門田）

北浜中跡地利用と 国道179号バイパスプランは

町長

年度内には一定の方向を出したい



井上 光治



渋滞解消が待たれる田後交差点

【問】①跡地利用検討委員会は、始動したのか。
②特に北浜中学校は、他町との共有財産。どうするののか。
③国道179号バイパスと跡地利用は大きな課題。今のスピード感で決定できるのか。
検討委員会設置が予算化されて半年経過したのに、情報が出てこない。179号バイパスは、平成31年新規事業化を県は検討。町のマスタープランが決定しなければ、何も前進しない。どう考えているのか。

【町長】①現在、委員の選定を進めており、9月中旬に委員委嘱・任命および第1回の委員会を開催予定。
②考慮しなければならぬ事柄があり、適切な時期に北栄町とも話し合ってみたい。
③マスタープランの中で、町内の商店街への誘導を可能とした新たな交通網の形成と、北浜中学校跡地も有効利用がはかれるよう、道路網の検討を行うことを記述している。年度内には一定の方向が出せるよう取り組んでいく。

【町長】今後、教育委員会や学校と一体となって再発防止に取り組み、安

事故発生は、平成28年7月15日。調査委員会報告書が提出されたのは、平成29年6月。学校、教育委員会の危機対応などの甘さを厳しく指摘。心から反省した上で、その後対応したのか。

【問】①事故調査委員会設置に至るまでの教育委員会、どんな協議があったのか。
②町長、副町長への報告相談は、どのように行われたのか。
また教育委員会制度は改正したが、機能したのか。
③調査委員会報告書が出てもなお収束しない原因は何か。



事故のあった羽合小学校プール

全安心な教育環境づくりを進め、信頼関係の回復に努めたい。
【教育長】①平成28年12月19日に保護者、学校、教育委員会、三者による話し合い。その後、12月定例教育委員会へ校長を招致して報告を行った。平成29年1月には事故調査委員会の準備を進め、2月に事故調査委員会の設置要綱、委員など

を決定し、3月2日に第1回の事故調査委員会を開催した。
②町長、副町長への報告は、平成28年12月初旬。制度改正はしたが、重篤な状態と思わず対応していない。
③それぞれの児童、保護者の方へ謝罪は行ったが、誠意ある対応をきちんと行なった後改めて話し合いの場を持ちたい。

羽合小学校

プール事故の対応は

町長
教育長

謝罪し信頼回復に努める

指定文化財のある 地域の防火対策は

町長

町道の改良を進めたい



たけ なか とし たけ
竹 中 寿 健



望まれる道路延長
(宇野ふるさと農道)

【町長】①広域連合消防局と町消防団との連携を、いっそうはかていく。

文化財のある地域の防火対策をどのように考えているのか。ふるさと農道延長について問う。

【問】①宇野地区は、家屋密集地で、しかも道路が狭く防火対策が緊急な課題である。
毎年のように、ふるさと農道延長の要望をしているが実現されていない。

【教育長】②尾崎家住宅・安楽寺ともに、自動火災報知設備と消火器を設置。
尾崎家住宅の修復にともなう防火設備の充実、文化庁と協議中で、現段階では具体的な計画の策定には至っていない。

自主防災組織でも、充実強化をお願いしたい。
安心・安全なまちづくりのためにも、緊急車両の通行ができるように、町道の改良を進めたい。

放射性廃棄物処理場

受入れ拒否を

町長

現段階で拒否は適切ではない

【問】①7月28日、高レベル放射性廃棄物処理場の科学的特性マップが公表された。率直な感想を問う。
②今秋よりマップ公表にともない説明会を開く予定であるが、説明会の内容を町民に公開すべきと思うが。
③マップでは、海岸に近く、核のゴミが搬入しやすい「輸送面でも好ましい地域」に湯梨浜町が該当している。核のゴミ処分の候補にあがった場合は、受け入れを拒否すべきと思うが、見解を問う。

【町長】①国が科学的な情報を客観的に提供し、国民の理解を深めるためのもので、処分場などの受入れ判断を依頼するものではないと理解している。安全性の確保などには関心を持ってみている。
②説明会は公開で行われると思っている。町が得た情報も公開していく。

③放射性廃棄物問題は、必ずどこかで、なんらかの方法で解決しなければならぬ課題だと考えると、現段階で拒否しますというのとは、適切ではないと考えている。



廃棄物処理場科学的特性マップ

景観保全で 町の魅力アップを

町長

東郷湖周の景観を生かす



よね だ つよ み
米 田 強 美



美しい景観が広がる東郷湖周
(宮戸弁天)

【問】①ハワイ夢広場から出雲山展望台あたりまで、自然が残っている地域であるが、太陽光パネルが設置されると聞く。景観を考えると、無いにこしたことはない。県などに土地の買収を進めてもらい、自然を残すことを提案する。

【町長】①太陽光発電設備計画は、県の景観形成条例によって、届け出が義務付けられている。その基準に適合していると判断された。県による土地買収は、公園区域外であり困難。

【問】②東郷湖周の美しい景観を維持し、未来に向かって作り上げていくために、現在、都市計画マスタープランの策定中である。あわせて景観法に基づく「景観行政団体」の指定を受ければ、自ら届け出と審査もできる。「景観行政団体」を検討したい。

【町長】②うつ病などの精神疾患による職員、教員の療養休暇が、近年は全国的に増加傾向か、高止まりのようだ。当町の現状と対策を問う。

【町長】③同一労働、同一賃金の理念からすると、臨時職員の待遇改善が必要だと考える。町長の考えを問う。

町長

働き方改革に努力

町職員と教員の働き方改革は



仕事と家庭の両立をめざして（イクボス会議）

県一本化で 国保はどうなる

町長

県と市町村間で調整中



ます い く み
増 井 久 美

【町長】 ① 来年4月より国保会計の運営が、県で一本化される。国保会計は「年齢構成が高く、医療水準が高い」「所得水準が低い」など構造的な課題がある。

② 県と市町村が一緒に国保財政運営を担うことになるが、どう変わるのか。

③ 納付金算定システムによる試算では、当町は13・6%の上昇率になる。保険料の決定はどうなるのか。

④ 国は法定外繰入れをなくす方向だが、そうなれば町民に大きく影響する。繰入れはできなくなるのか。



集団検診で早期発見

【町長】 ① 市町村では、保険税額の決定、保険証の発行などの資格管理、保険給付の決定・支払いなどを行うことになっており、細かい事業を実施。

② 県が必要な納付金額を各市町村の医療水準と所得水準を反映させて算定することになっており、現在納付金算定の基礎となる係数を県と市町村間で調整している。

③ 一般会計からの繰入れは、全面禁止ではない。繰入れ制度を活用したうえで、赤字削減をめざし義務を果たしていく。

介護保険制度は 今後どうなる

町長

第7期計画を策定中

【町長】 ① 5月に参院本会議において「改正介護保険法」が可決された。この内容をみると高齢者の自立に重点がおかれ、介護保険が利用しにくくなるのではないかと。町としてどう対処していくのか。

② 介護保険法制定から20年が経過した。高齢者や国民が求める介護保険制度となっているか。町民にとって負担が増えるのではないかと。

③ 第7期に向けた介護保険事業計画の策定も行われる。町としてどのように町民の声を反映させていくのか。

【町長】 ① 「改正介護保険法」は、自立支援などの取り組み内容と目標を設定するとともに、実施状況に関する調査、評価を行う。

町民のめざす取り組みが制度化されたものである。

これまでと変わることなく、サービス利用でき

と考えている。

② 世代内・世代間の負担の公平や負担能力に応じた制度となる。

③ 今後、国から正式に示される基本指針に基づいて、策定する予定にしている。



元気に体操（東郷地域敬老会）

地域包括ケアシステム 強化のための取り組みは

町長

総合的推進をはかる



はまなか たくしん
濱中 武 仁

【問】本年5月に介護保険法等が改正された。改正法への対応と次期介護保険事業計画の策定状況は。

法の改正内容には、要介護度の改善などで、成果を挙げている自治体に、財政的インセンティブの付与も行われる。介護予防事業など、さらに充実していく必要があると思うが、今後の対応は。

3月に地域包括ケア計画策定業務報告書が出されたが、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み状況は。

また、住民への普及啓発も必要だと思うが。



第7期計画を議論
(介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会)

【町長】高齢者の自立支援と重度化防止、地域共生社会の実現をはかるためのものであり、法律に基づき、第7期介護保険事業計画の策定を行う。

今回新たに追加された「被保険者の自立した日常生活支援等」に関し取り組みべき施策等に関する事項についても、次期計画に盛り込んでいく。

年内を目標に計画案を作成し、説明会、意見募集を行い提案する。介護事業の方向性は、生活支援体制の整備、認知症施策の総合的な推進をはかっていく。

町村合併の総括は

町長

独自の施策で効果あり



うらみ ゆすけ
浦木 靖

【問】町村合併して10月1日で丸13年になるが、合併をどう評価しているのか。

合併したことに關して、地域間のしこりがあるとすれば、しこりが残らないようにするために、住民との意見交換会が必要であると思うがどうなのか。

学校の規模に關して、小学校の子どもたちにとつての一番良いあり方を基本に沿って考え、対応すべきであるがどうなのか。

【町長】合併後、羽合、東郷両小学校の開校、こども園の開園、ウォーキングリゾート、天女のふるさとづくりなどの事業を



合併10周年記念式典

やつてきた。財政面が改善されたのは、合併特例債などの優遇措置、行政改革の効果だと思う。

総合計画のアンケートでは「住みやすい」という意見が多かった。今のところ住民ニーズの把握はできており、意見交換会は考えていない。

住民の中でしこりがあるなら、その内容を教えていただき、解決する努力をしていきたい。

【教育長】基本的資質を養う目的での義務教育は、12〜18学級が望ましいが、小規模校の特性を生かし特定地域選択制を設けた。

町民インタビュー

癒しで町を活性化

のぐち ひでと
野口 秀斗さん（松崎）



私は、2016年10月23日に実家の野口商店の裏で、「コラーゲンマシン&リラクゼーションサロンOasis」、2017年4月に野口商店の大栄支店で「のぐち整骨院」をはじめました。松崎のお店では体のもみほぐし、足つぼ、美容に効果のあるコラーゲンマシンを使い、日々お客様を癒しています。

松崎でお店をする以前は、関西でリラクゼーションサロンと整骨院をしていました。いつか地元で開業するという目標がありましたが、松崎周辺は人口が少なく、商売をするのは難しいのではないかと感じ、開業は当分先になるのではないかと考えていました。

2014年頃から、帰省のたびに移住者の方が増えたり、新しい店がオープンしたり、新しい取り組みが始まったりと、町の変化と盛り上がりを感じはじめました。その後も

盛り上がりは増しているように感じたので、自分の準備が整ったタイミングで開業しました。

開業して約1年、徐々にお客様もふえてきました。松崎の盛り上がりを引き寄せられて開業した当店ですが、今後は盛り上げる側として長くお店を続けていきたいです。

疲れたときには気軽にお立ち寄りください。



みずみずしさがあの頃に復活 コラーゲンマシン（撮影のため服を着用）

議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

編集後記

私の母校東郷中学校は、平成31年3月末に閉校する。学び舎に行くたびに、懐かしい思い出がよみがえってくる。幼い頃に通った保育園、小学校は既がない。次は中学校の番だ。

次々に思い出は消え去り、さみしい気もするが、時間は未来に向かって進んでいる。新中学校の平成31年4月の開校に向け、工事は着々と進んでいる。どんな中学校が出来るのだろうか。開校式みんなの笑顔が、早くみたいと思っている。

（記 松岡）

【編集】

議会広報常任委員会